



日本の強さを、一人ひとりの豊かさに 自立と誇りある日本をつくる! 自民党



きかわだひとしプロフィール

昭和45年生まれ。55歳。埼玉3区で衆議院議員選挙5期連続当選。現在、高市内閣で内閣府特命担当大臣を務め12分野を担当する。元自民党国防部会長、元衆議院外務委員長、元内閣府副大臣(経済財政)、元外務大臣政務官。国会議員になる前から海洋政策の研究者として活躍。現在も日本の海洋資源開発を政治の立場から牽引する第一人者。外交安全保障から子ども政策など身近な課題まで、幅広く取り組むことができるオールラウンダー。東京理科大理工学部土木工学科卒、米国メリーランド大院修了(理学修士)、大阪大学大学院工学研究科博士後期課程単位取得退学。越谷市在住、妻と長女の3人家族。趣味は剣道(2段)、空手(茶帯)、野球、スクーバダイビング、落語(十八番は長短)。



きかわだひとし



公式サイト



詳しくは
こちら▶

実績 1 出入国管理と安全対策の強化

不法滞在やテロを防ぐため、電子渡航認証制度(JESTA)の前倒し導入を実現。観光税や在留資格手数料の見直しで出入国在留管理制度を強化し、自衛隊員の待遇改善など防衛の人的基盤の強化にも取り組む。

実績 2 国を守る防衛力の大幅な強化

厳しさを増す国際情勢を踏まえ、防衛費をGDP比2%に引き上げることを実現。次期戦闘機の英国・イタリアと共同開発を推進し、自衛隊員の待遇改善など防衛の人的基盤の強化にも取り組む。

実績 3 責任ある積極財政への転換

日本の失われた30年間の経済財政政策のトレンドを変えるため、新たに「責任ある積極財政」を提唱。将来世代に配慮しつつ、必要な財政出動を行う考え方を政府や自民党に粘り強く訴え続ける。

実績 4 日本の海洋資源開発を前に進める

南鳥島周辺の海洋資源開発について、早い段階から重要性を訴え、取り組みを牽引。水深6,000mでのレアアース泥の試験掘削に必要な予算を確保し、今年1月にいよいよ実現した。

「責任ある積極財政」を通じて着実な経済成長による「強い経済」を構築

「強い経済」から得た果実で物価高対策やこども政策など安心・安全な暮らしを実現

「地域未来戦略」を推進し越谷市や川口市の地域活性化も応援

「元祖・自民党海洋政策トップランナー」として南鳥島レアアース開発を力強く牽引

きかわだひとしのやること

《衆議院議員5期》きかわだひとしの 実績と取り組み

実績 5 公立学校の環境整備を推進

全国の公立小中学校で、教室や体育館への空調装置、トイレの洋式化、特別支援学級の整備、老朽校舎の改修を進めるための予算を継続的に確保。あわせて、自治体が使いやすい制度への見直しも実現した。

実績 6 孤立・貧困を防ぐ居場所づくりを支援

年齢を問わず、悩みを抱えた人が気軽に立ち寄れる居場所づくりを後押し。こども食堂、フードバンチャー、学習支援、まちの保健室など、食や相談を通じて、人と人をつなぐ取り組みを応援している。

実績 7 プロスポーツを活かした地域活性化

JリーグやBリーグ等、プロスポーツチームがあることを核に、地域づくりのあり方を見直し、地域活性化につなげたい地域や団体を支援する新たな概念や制度を創設した。

実績 8 議員外交による日本の存在感向上

各国の要人との意見交換を重ねるとともに、国際議会にも積極的に参加。日本の考え方や立場を直接伝え、国際社会における日本の信頼と存在感を高めている。

きかわだひとし

衆議院議員候補 内閣府特命担当大臣